

授業 コード	11127	科目名	社会調査実習(1)		担当者		八木 寛之・永井 純一			
		副題		開講期	前期	単位数	1	DP対応	S1,S2	

【授業概要】

調査の設計から実査、分析までを手がけることによって、他の科目で習得した知識の定着をはかり、社会調査に必要なスキルを身につける。質的調査と量的調査を組み合わせることによって、それぞれの特徴を学び、ひとつのテーマに対して多角的なアプローチをおこなう。調査票を用いた調査が軸だが、その前後に観察調査、聞き取り調査を配置し、それぞれのデータを補完する形で報告書をまとめる。また、報告書の作成以外にも、口頭発表の場を設けるなどして高いプレゼンテーション能力の習得も目指す。

【到達目標】

社会調査に関する基礎的なことがらを説明できる。  
調査結果を読み解くことができる。

【授業方法・計画】

ひとつのテーマに対して観察調査、質問紙調査、聞き取り調査を用いて多角的にアプローチする。構成および内容については以下のとおり。

第1回	イントロダクション
第2回	調査の企画・設計
第3回	予備調査(1) 先行研究・資料の収集
第4回	予備調査(2) 観察調査
第5回	予備調査(3) 聞き取り調査
第6回	予備調査の整理、まとめ
第7回	仮説の設定
第8回	調査項目の決定
第9回	調査対象、抽出方法の決定
第10回	調査票の設計・作成(1)
第11回	調査票の設計・作成(2)
第12回	サンプリング(1)
第13回	サンプリング(2)
第14回	調査の実施と回収

【準備学習・復習】

準備学習: テキストを読むこと(100分)  
復習: 授業内で出された課題に取り組む(100分)

【課題に対するフィードバックの方法】

授業時間内およびオフィスアワーにてその都度対応する。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

社会調査法(1)、社会調査法(2)、社会調査実習(2)を同時に履修すること。

成績評価方法	レポート課題(100%)
教科書	浅川達人 『ひとりで学べる社会統計学』 ミネルヴァ書房 2011年
参考書	適宜紹介する。

SS2216	授業に関連する実務経験	なし
--------	-------------	----